

**燃料油脂新聞社の2018年新春インタビューが掲載されました。****【燃料油脂新聞：2018.1.9 3面】**

弊社社長田口が、2018年1月9日付けの燃料油脂新聞社の新春トップインタビューの中で、今後の石油販売事業の展望や業界の動向、特約店様への新年のメッセージについて語りました。インタビューの主な内容は以下の4点です。

Q：昨年度を振り返って

A：業界環境は想像以上のスピードで変化し、国内需給バランスが改善、市況も回復しました。精製、流通、小売りの各段階の-marginが確保され元売系列の取引は安定しましたが、商社間のスポット取引は大幅に減少しました。今後、石油業界はさまざまな業界とのアライアンス（提携）や新たなサービスと付加価値を求められると思います。

Q：シナネンの取組みは

A：SSビジネスは既存のサービスだけではビジネスの維持・拡大が難しい状況です。石油ビジネスという枠組みにとらわれず、自動車関連のサービス業として新たな事業分野を開拓しています。当グループとしては、初の特定認証車検整備工場を東北エリアで新設し、既存のSSビジネスに新たな付加価値を加えてゆきます。

Q：2018年に向けて

A：弊社は現在、3か年中期経営計画の1年目にあり、CBS（Change Business Structure）作戦という、事業構造を変える取組みを進めています。石油に加え電力やガスを供給するだけでなく、エネルギーを利用する需要家のエネルギー効率を上げ、エネルギーの使い方を提案する省エネソリューション事業を展開していきます。

Q：特約店様への新年のメッセージを

A：人口減少や需要減、EV時代の到来などSSビジネスに対し悲観的になる必要はないと思います。これからは、いかに地域で信頼を得て、付加価値の高いサービスを提供していくかの競争になりますので、弊社はそのために必要な投資をこれからも行い、グループ全体の競争力を高める準備を進めていきます。